

愛知県立知立東高等学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

## 知立東高校の歴史と現在

知立東高校は、東海道の「池鯉鮒（ちりゅう）宿」として整備され、交通の要所であるこの知立の地に、昭和61年4月に開校し、以来40年の歴史を刻み、14,000人を超える卒業生を輩出しています。その間、地域の皆様からの御支援をいただき、その熱い期待に応えるべく、「知・徳・体の調和のとれた活力ある人間」の育成をめざして、充実した教育活動を推進してきました。開校から41年目となる令和8年度、各学年9クラス編成の計27クラス、生徒数が1,000人を超える大規模校です。

## 知立東高校の教育

本校の教育方針を「愛知県立知立東高等学校 スクール・ポリシー」で示しています。その中で強調したいことは、「志を高く掲げ、粘り強く最後まで頑張る」ということです。その気持ちは本校生徒たちに脈々と受け継がれ、生徒と教員集団との関わりによって、進学指導体制を維持し続けています。今年度も、地元愛知県の名古屋大学、愛知教育大学、名古屋工業大学、愛知県立大学、名古屋市立大学をはじめ、近隣の岐阜大学・三重大学・静岡大学・信州大学等の国公立大学に合格し、私立大学も地元の南山大学、名城大学、愛知大学をはじめ、同志社大学、立命館大学等に多数が合格し、多くの生徒が希望する大学へ進学しました。

また、知立東高校は「総合的な探究の時間」を通して、キャリアプランニング能力の基盤づくりや課題発見をテーマにした探究活動を実施しています。加えて、知立市と連携し、生徒たち自身で調査を進め、地域活性化に向けたアイデアを知立市に提案しています。

さらに、愛知県の事業である「あいちSTEAM能力育成事業『知の探究講座』」の推進校として様々な活動を行っており、複数の生徒たちが地元の大学へ出向き、大学の先生方の指導を受けながら研究・発表しています。

また、運動部と文化部あわせて26の部活動と1つの同好会があり、どの部も熱心に活動しています。また、自然科学部、吹奏楽部、茶華道部等は地域と連携してさまざまな場所で発表をして、活発に活動しています。

## 知立東高校の環境

知立市のほぼ中心に名鉄知立駅があり、名鉄名古屋本線と三河線とが接続しているため、地元知立市はもちろん、隣接する刈谷市、安城市、豊田市や、名鉄沿線の高浜市、碧南市、豊明市までとても広い範囲が通学地域となっています。名鉄知立駅から学校までは少し距離がありますが、自転車を利用すれば10分以内で学校に着くことができます。鉄道を利用して広範囲から通学することを考えると、交通アクセスのよい学校と言えます。

学習環境も大変恵まれています。知立東高校の南側には、のどかな田園地帯が広がっており、北側に隣接する大型商業施設を含めた街の景観と、とても対照的です。現在工事をしている箇所もありますが、開放感のある校地や充実した施設は、高校生活を充実させるには最適であると言えます。また、令和8年度には、体育館の空調設備の設置工事が予定されており、令和9年度から稼働予定です。

## 中学生の皆さんへ

知立東高校は、自分を鍛え、自分を磨き、あなたの夢を実現できる学校です。あなたも一緒に知立東高校の歴史をつくりませんか。みなさん一人一人が内に秘めた可能性を最大限に伸ばすことができるように、教職員一同、最大限の努力をしていきます。

最後に、このサイトをご覧いただいた皆さまに感謝するとともに、躍動する本校生徒の様子をご覧いただきたいと思います。今後とも本校の教育活動にご理解とご支援をお願い申し上げます。

愛知県立知立東高等学校長 大谷浩司